

# はまぐみ小児療育センターだより

新潟県はまぐみ小児療育センター ☎951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5932番地 電話 (025) 266-0151

「よろしくお願ひします」

新潟県はまぐみ小児療育センター

小児科医長 中山有美

はじめまして、4月から赴任致しました中山有美です。小児科に入局して今年で11年目となりました。今までは急性期の病院中心の勤務で、こちらに赴任前は長岡赤十字病院で5年間勤務していました。長岡赤十字病院では病院の特性上重症心身障害児の急性期の入院がとても多く、症状を訴えることのできない患児の体調をどう評価し治療につなげるか、頭を悩ませながら診療にあたる日々でした。また一般外来では乳幼児の発達全般や学童期の発達障害を疑わせる学校生活での困難さについて相談されることも多く、療育が必要と判断した場合は児童発達支援の窓口を紹介させてもらっていました。紹介先でのことはご家族から少し話を聞く程度でした。長く外来で関わるうちになかなか歩けなかった子が歩けるようになったり、ずっと泣いていた

動き回っていた子が座って診察を受けられるようになったりと、子供達の成長に喜んだり驚いたりすることも多くあり、この過程には具体的にどんな発達支援がされているのか、気になってきた中で当センターへの赴任のお話をいただきました。今まで深く関わってこなかった分野でもありちゃんとしていけるか不安もありましたが、とても良い機会をいただいたという思いの方が大きくありがたくお受けした次第です。赴任後まだ間もないですが、多職種が連携して子供の発達を家族ごとと手助けする当センターの気風にとても魅力を感じています。はまぐみ小児療育センターに赴任すると両親に話した所、父が小学生の時に同級生が入院していたと話してくれ、当センターの歴史を感じました。「そうか、あの子みたいな子を診ていくの

か、それはしつかりやらなきゃだめだぞ」、と昔に思いを馳せながら話す父の姿が印象に残っています。当センターが築いてきた基盤を大事にして、今まで学んだことも活かしつつ地域の子供達の力になれるよう努力しようと思ひます。

現在2歳と6歳の娘を育てています。長女は今年小学校1年生になり、まだまだ学校に慣れないよう登校時は行きたくないと渋ることもあり、「ママも今の病院1年生、一緒に頑張ろう」と励まし見送る日々です。育児短時間勤務を利用しての勤務となりますので色々ご迷惑をおかけすることもあるかと思ひますが、勤務中は気軽に声をかけていただければと思ひますので、何卒よろしくお願ひいたします。



## 歯科の診療室より

新潟大学大学院医歯学総合研究科  
小児歯科学分野

中村 由紀 准教授

この度、この「はまぐみ小児療育センターだより」に執筆の機会をいただきました。はまぐみ小児療育センターの歯科で歯科診療を担当しております。普段はまぐみをご利用になられている方がお読みになられるということで、歯科の私からどのような内容を執筆しようかと悩みましたが、歯にちなんで『親知らず』について書いてみたいと思います。

『親知らず』と聞くと、あまり良いイメージをお持ちの方は少ないのではないのでしょうか。「斜めに生えてきて時々うずく」「上手く磨けず虫歯にしてみました」「抜歯して腫れた」などなど。『親知らず』のことを、専門用語では「第三大臼歯」「智歯」などと言いますが、前から数えて8番目の歯なので「8番」ということもあります。永久歯のなかでは最後にできてくる歯なのですが、人の進化の過程で退化しやすい歯でもあり、一番欠損が多い歯と言われる

ています。かくいう私も、本来4本ある『親知らず』のうち3本はありません。20代後半のときに1本だけ、上あごの右側から申し訳なきように小さな『親知らず』が生えてきました。咬み合う下の歯が無いためにかえって汚れがたまりやすく、いつも虫歯にしないか心配して気を付けて歯磨きをしています。

とはいえ、なかなか歯磨きが難しいのが『親知らず』です。特に、ご自身での歯磨きが困難で介助磨きが必要な場合はなおのことです。残念ながら虫歯にしてみました。斜めに生えてきたため周囲の歯肉に炎症を起こしてしまっただけ、その予兆がある、などの理由でしばしば『親知らず』の抜歯を歯医者さんで検討された方もいらっしゃると思います。大学病院等の口腔外科といった専門診療科に紹介されることもあるでしょう。通常の抜歯に比べて『親知らず』の抜歯が高いハードルであることは想像に難くありません。

私も日々の診療において、『親知らず』の抜歯が必要かもしれないことを患者さんとお話する機会があります。そのような時には、患者さんの色々なことをお聞きしておきたいと考えています。歯磨きは誰がどの

ようにしているのか、虫歯になりやすいタイプかそうでないのかといった歯のことはもちろん、食事はどのようなものをどのような方法でとっているのか、慣れてない場所への抵抗は強いのかそうでもないのか、治療に対する様々な制限やストレスをどのくらい許容できるか、ここ最近の日々の調子などについても可能な限りお聞きし、抜歯をした方がよい度合いはどのくらいか、抜歯するならいつ頃が良いかなどを、個々に応じて患者さんと一緒に考える必要があるためです。これは、『親知らず』の治療に限ったことではありません。虫歯や歯周病の治療、それを予防する定期受診時の歯のクリーニングも同じだと思います。是非、歯科を受診された際は、「歯や口とは関係ないわ」と思うことでもお聞かせください。他愛のない雑談のなかにも、患者さんのことを知る手がかりがたくさんありますので。



「親知らずの歯を含む上下のあご全体を写すパノラマエックス線写真(筆者本人の写真)」

### はまぐみ給食のレシピ紹介

#### マカロニクリーム煮

##### ◆材料（1人分）

- 鶏ひき肉 30g
- マカロニ 8g
- 玉ねぎ 40g  
(0.5cmサイコロ状)
- 人参 15g  
(0.5cmサイコロ状)
- ブロッコリー 15g (小房に分ける)
- 牛乳 80g
- マーガリン 8g
- 小麦粉 8g
- 塩 1g
- 粉チーズ 5g

栄養価	
エネルギー	253Kcal
たんぱく質	11.7g
食塩相当量	1.3g



##### ◆作り方

- ① ブロッコリー、マカロニはそれぞれ別にやわらかくゆでておく。
- ② 鍋に鶏ひき肉を入れて、ひき肉がかぶる位の水を入れて、水から煮る。煮えたら一緒に玉ねぎ、人参を入れて水をたして(1人分約 200cc× 人数分の水)火が通るまでよく煮る。(中火で 15 分位)
- ③ 別鍋に小麦粉をマーガリンで炒める。(白い状態でよいです)そこに温めておいた牛乳を加える。(だまにならないために、牛乳は温めておきます)  
(市販のシチュールーを使う場合、②にシチュールーを入れ、牛乳を加える)
- ④ ②に③を加えてダマにならないようによく混ぜて、ブロッコリー、マカロニを加える。
- ⑤ 塩、コショウ、粉チーズで味を整えて、出来上がり。



「ねこいる!」

作… たなかひかる

#### おすすめ絵本の紹介

リハビリテーション技師長

山崎 綾子



今回は、猫が好きな私から猫の絵本を紹介いたします。

絵本を開く前の表紙からあちこちあらゆるところに猫がいます。そして絵本の中にも猫がいるのですが、思わぬところにたくさんいて、それを探し楽しみがあります。何よりもねこがいるーただそれだけなのにこどもも大人も笑ってしまいます。

笑いは、免疫力向上・脳の活性化・有酸素運動・幸福感とストレス解消など多くの効果があると言われてます。こどもが笑っていると大人もうれしく笑ってしまいますね。絵本を読んで一緒に笑いましょう。

どうぞよろしく  
お願いいたします

**新任職員御挨拶**

会計課主査 渡辺 和秀

4月に異動してきました、会計課の渡辺です。前任は新潟地域振興局健康福祉部で、生活保護業務を担当していました。1年間ですが、福祉施設(コロニー)にいがた白岩の里)での勤務経験もあります。これまでの福祉保健部でのキャリアを通して、利用者が快適に過ごせるよう、また、職員が仕事をしやすいように取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしく申し上げます。

リハビリ主任(言語聴覚士) 宮崎 晴美

県立リウマチセンターから1年ぶりに、はまぐみ小児療育センターに戻ってまいりました。久しぶりの顔をはじめましての子供たちや保護者

の皆様にお会いでき、とても嬉しいです。小児の診療に携われる喜びを忘れずに努めて参りたいと思います。よろしく申し上げます。

リハビリ主任(理学療法士) 渡邊 和也

4月より十日町病院から転入して参りました、理学療法士の渡邊と申します。今までの病院では、高齢の患者様が多く、お子さんたちを対象としたリハビリの経験がほとんどなかったため不安な点もありましたが、可愛いお子さんたちから逆に元気をもらい業務に励んでおります。まだまだ分からないことが多いですが、利用者様やご家族様に寄り添ってリハビリや支援ができるよう頑張りたいと思います。よろしく申し上げます。

病棟 看護師長 小柳 花里奈

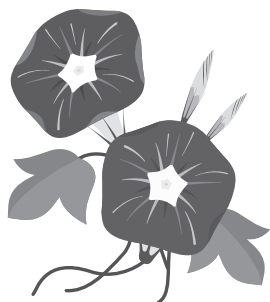
このたび、はまぐみ小児療育センターに転入いたしました小柳です。利用児・者の方々が安心して過ごせる環境を提供し、成長を支援できるよう努めてまいります。皆様と協力し、温かい施設を築いていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

病棟 主任看護師 高橋 路恵

この4月より加茂病院から異動してまいりました高橋です。前勤務先の加茂病院は地域密着型の病院で、患者様とスタッフとのつながりも強く地域に根付いた素敵な病院でした。加茂病院での経験はとても勉強になり、私の宝物となっています。他にもいろんな病院で培った経験を活かし、このはまぐみでもたくさんの方の経験を積んで関わる全ての方の力とされるよう精一杯尽力して行こうと思っています。

病棟 主任看護師 堀内 真紀子

4月に加茂病院から来ました堀内です。異動して来て、スタッフ全員が利用者さんに対し、愛情を感じる



接し方や声色で話していることのごさを感じています。私もそんな関わりができるようになりたいと思っています。そして、小学生の自分の息子にもそんな関りをしてあげなきゃいけないな。と反省しながら家に帰っています。公私共に、「心穏やかに」を目標にして頑張っています。よろしくお願ひします。

あすか 室長代理 長谷川 裕美

皆様、はじめまして。コロナーにいがた白岩の里から異動になり、あすかで勤務している長谷川です。はまぐみには、遠い昔の学生の頃、ボランティアに来たこともあり、ご縁を感じています。とはいえ、いまは初めてのことで、戸惑うことも多いのですが、利用者の皆様が、安心して穏やかに楽しく過ごしていただけることを一番に、一生懸命頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

療育支援室 主査 勝見 太一

この4月から療育支援室に異動し、発達障がい者支援センターRISEの業務を担当させていただいております。まだまだ分からないことは多いですが、支援を必要とする方々に

寄り添い、お互いを尊重しながら安心した暮らしを送るためにできることを、一緒に考えていきたいと思ひます。

療育支援室 主任 相場 沙織

4月からお世話になっております。はまぐみで勤務するのは今回が初めてで、心理判定業務を担当しています。緊張してしまうことも時々ありますが、先輩方いろいろなことを教えていただきながら仕事をしています。お子さんや保護者の方と心理検査をしたりお話をしたりするのはとても楽しみです。どうぞよろしくお願ひいたします。

通所 児童指導員 小澤 道代

3月からはまぐみにお世話になっております。長年、幼児教育に携わり公立幼稚園に勤務しておりました。初めてのはまぐみ勤務に、緊張と不安でいっぱいでしたが、皆さんの温かい援助と子どもたちの笑顔に、たくさん助けられながら日々過ごしています。皆さんとワクワクいっぱい、笑顔いっぱい楽しい時間を共有していきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 苦情解決の状況

令和6年3月から6月末までに寄せられたご意見は3件でした。内容は「設備に関するもの」1件、「職員の対応に関するもの」1件、「その他」1件でした。これに加え、センター運営に関する感謝のお言葉も1件いただきました。皆様からのご意見をもとに、気持ちよく利用していただけるセンターとなるよう努めて参ります。ご意見ありがとうございます。

